

令和元年度協同転地演習



発行所
 第3后方支援連隊
 第1科広報
 〒664-0014
 兵庫県伊丹市広畑1-1
 電話 072-781-0021
 内線 3403

記事内容

1面 令和元年度協同転地演習
 2面 令和元年度協同転地演習所見・令和元年度新隊員特技課程及び第12期一般陸曹候補生課程後期「武器・需品・衛生」教育
 3面 令和元年度新隊員特技課程・転出人事・離着任行事・成人者紹介・定年退官者紹介
 4面 定期表彰・定期昇任・人事往来等の紹介・連隊メダル紹介



三宅連隊長に出発報告をする
 連隊本部第3科通信整備幹部 尾崎1尉

令和元年6月30日(日)から7月28日(日)までの間、令和元年度師団協同転地演習に参加をした。
 本訓練において連隊は、各駐屯地から矢臼別演習場(北海道)までの間、機動訓練を実施し、長距離機動能力の向上を図るとともに揚陸訓練支援及び部隊別訓練支援を実施した。
 また、7月10日(水)から17日(水)までの間、矢臼別演習場において、第2次師団訓練検閲に参加し、2整大2DS・特科DS及び戦車DSが受閲、1整大・補給隊及び衛生隊が兵站・衛生支援を実施し、師団任務達成に寄与した。
 参加各部隊は、それぞれの成果を得て各駐屯地に帰隊し、無事訓練を終了した。



1整大支援施設(整備所)開設準備



補給隊支援施設(洗濯所)開設準備



駐屯地出発



幌修理をする1整大 増田3曹



通信器を整備する1整大 高平3曹



車両回収訓練を実施する1整大隊員



現品を受領する補給隊



ガソリンを給油する補給隊 井川士長・横田士長



洗い終わった戦闘服をたたむ 井ノ下士長・池田1士



重車両輸送支援する輸送隊隊員を激励する三宅連隊長



歩哨壕で警戒監視中の2整大特科DS隊員



故障した戦車を回収する2整大戦車DS隊員

協同転地演習参加所見



1 整大
1等陸士
藤本 瑛

私は、令和元年7月2日(北
海道)に管理部署支援隊食堂班
要員として参加しました。
公私共に北海道は初めてで、
かつ長期間の演習は初めてで
した。
食堂班での私の任務は配膳配
食、食器の洗浄等、食堂に関す
る業務が主でした。
700名を超える隊員が喫食に
来られるので、長蛇の列が出来
てしまい、配食のスピードとほ
どよい配食分量が要求され、当
初は戸惑いましたが、期間中に
レベルアップしました。食器洗
浄も700名分であり大変で
した。
慣れない業務でしたが、食堂
班長指導の下、班員一致団結し
て業務を進めることができ、大
変良い経験になりました。
また、矢別演習場への移動
に際し、日本海航路のフェリー
移動、道内の車両移動、各駐屯
地での宿泊も私には新鮮であり
大変よい経験になりました。
今後、機会があれば自ら進ん
で参加したいと思えます。



本部付隊
1等陸士
安達 由貴

私は、第2次師団訓練検閲統
裁部兵站支援隊整備・回収班級
造工作手として参加しました。
初めての長期支援と初めての
北海道ということで不安半
分、期待半分で参加しました。当
現地では慣れない土地での生活
に感じましたが、先輩や上司の
方々に支えられ頑張ることが
できました。さらに重トラを使用
した車両回収訓練や実車回収
収を経験することができ、自衛
官として大きく成長できました。
将来は、陸曹になりこの貴重
な経験を後輩隊員に教えてい
きたいです。



2 整大戦車DS
陸士長
淵上 修椰

私は、通信整備手として今
回の協同転地演習(検閲)に参
加しました。
今までに味わったことのない
長期の演習で、偵察先発隊から
始まり、有線構成、掩体構築、
故障した無線機の整備と終始
汗をかきっぱなしで寝る間も惜
しんでの状況でした。途中で雨
も降り、過酷な状況の中で実
障の無線機を必死に修理しま
した。
検閲終了後に大隊から優秀隊
員で褒賞をいただき、とても
良かったです。自分ではま
だ不十分どころか、あつた
ので、今後も練習していきたい
です。



2 整大2 DS
陸士長
津山 翔太

この様な大規模な部隊の訓練
に初めて参加して感じたことは
想定外の状況への対応能力が非
常に要求されるということです。
検閲間、段列地域の築城が概
した直後に、展開地の移動が必
要な状況が生じ、陣地進入か
ら概成までを再度実施するとい
うこととなりました。陣地変換
命令が出た時には驚きましたが
その際に中隊長要望事項の「変
化に即応し任務を完遂せよ」と
第36普通科連隊長の「これまで
の訓練成果を遺憾なく発揮せよ
」を思い出し、検閲終了まで妥
協することなく自分の任務を完
遂しました。
この経験を生かし、どんな想
定の状況にあつても対応でき
る心構えで今後の任務におい
ても自分の技能を向上させ、部隊
及び被支援部隊に貢献できる自
衛官を目指したいと思えます。



2 整大特科DS
陸士長
眞田 勇也

私は、北海道矢別演習場で
実施された令和元年度第2次師
団検閲及び大隊訓練検閲に火器
整備手として参加しました。
状況は、6夜7日と非常に長
く過酷でした。検閲中は警戒、
偽装、工事について着眼を持
て実施していくことを心がけま
した。警戒については、歩哨上
番時での誰何要領、偽装につ
いては、長時間経つても枯れに
い草木、現地に適した草木を選
び実施しました。工事、特に掩
体構築においては、退避壕等に
おける手りゅう弾抗の構築に留
意して実施しました。
この検閲において学んだ多く
の経験を生かし、今後陸曹を
めざしていきたいと思えます。



2 整大特科DS
陸士長
杉山 永龍

7月10日から7月16日の間、
装輪車整備手として、6夜7日
の第2次師団検閲及び大隊訓練
検閲を受験しました。
今回の検閲を振り返ってみる
と、良い点と、改善しなければ
ならない点と、改善しなければ
ならない点と、7日間という長
い状況の中、昼夜の寒暖の差も
大きい演習場で体調を崩すこと
なく、また、怪我をすることな
く任務を遂行出来たことです。
改善すべき点は、偽装です。
個人偽装においても、枯れている
偽装をいつまでもつけている
偽装修正を逐次実施できてな
かったです。
今回、諸先輩から指導してい
ただいたことを胸に、毎日の訓
練に励んでいきたいと思えます。



輸送隊
3等陸曹
稗田 直也

私は、6月1日から8月3日ま
での間、協同転地演習に伴う戦車
輸送支援に輸送指揮官操縦手及び
予備車の操縦手として参加しま
した。3師団を離れて北海道での輸
送支援任務は初めてであり、と
ても楽しみではありましたが、不
安な経路研究、諸先輩方の親身
な指導により無事故で任務を完
遂することが出来ました。
支援の内容は、特大型セミト
レーラによる戦車輸送を苦小牧西
港から矢別演習場間実施し、全
期間を通じ8往復実施し、走行距
離は約9,000kmにおよびま
した。
今回の経験で得た事項をこれか
らの自衛隊生活で活かし、後輩等
にも普及しこれからも安全確実な
輸送任務に努めるとに部隊の精
神に励みたいと思えます。



補給隊
陸士長
糸井 和也

私は、第3後方支援連隊補給隊
糧食班で、倉庫手として勤務して
います。
今回の演習支援に参加するこ
とになってから、ずっと不安でし
た。なぜなら初めて行く土地で、
大規模な支援であり、糧食班の陸
曹が7名中2名だったからです。
実際に支援が始まったから、莫大
量の糧食荷分け、補給業務等によ
り力が足りない日々が続きました。
私は、陸曹に頼るのではなく、
率先して後輩陸士を指導・鼓舞し
今後の勤務において、どんなに
困難な状況であっても、最後まで
諦めない自信を身に付けることが
できました。次に協同転地演習に
参加する際は、糧食班長として活
躍したいです。

令和元年度新隊員特技課程及び第13期一般陸曹候補生課程 後期「武器・需品・衛生」教育開始式



需品教育隊集合写真



各課程合同による教育開始式



衛生教育隊集合写真



武器教育隊集合写真

令和元年7月2日(火)千倍駐屯地において、令和元年度新隊員特技課程及び第13期一般陸曹候補生課程「武器・需品・衛生」教育開始式を実施した。本教育は、「武器科」「衛生科」「装輪車整備」・「需品科」のそれぞれ必要な基礎的知識及び技能の習得を目的とし、需品教育隊8月30日(金)、武器及び衛生教育隊9月13日(金)まで間、教育を実施する。

私は、今訓練の医務班の救護員として参
加させて頂きました。
普段行っている救護と違い、医務官等と
連携して救護態勢を築き、日頃陸士ではあ
まり取り扱う事のない医薬品を患者に処方
する手伝いをしています。薬を患者に処方す
る際、薬の名称及び効能を事前に勉強して
大変な面もありましたが、この事前勉強で
得た知識を活用し患者対応が円滑に行え、
救護員としても一歩成長することが出来ま
した。
結果、師団長より優秀隊員の表彰を戴き、
今後更に部隊に貢献していこうと思えます。



衛生隊
陸士長
松本 将司

定期表彰

方面總監褒章(自主募集)

2 佐 瀧口 直樹 補給隊
2 尉 玉村 晃一 1 整大

師団長表彰

第3級賞詞(職務遂行)

1 尉 舛田 貴文 連本
1 尉 新妻 守康 2 整大
1 尉 武田 将弘 補給隊

連隊長表彰

第4級賞詞(職務遂行)

1 曹 沖田 俊幸 本付
2 曹 炭谷 充明 本付
2 曹 米田 義仁 本付
2 曹 高橋 佑昂 本付
3 曹 島袋 早利 1 整大
3 曹 須藤 雄毅 1 整大
3 尉 田淵 陽平 2 整大
2 尉 船引 宙 2 整大
1 曹 井溪 雅夫 2 整大
1 曹 谷 隆雄 2 整大
1 曹 小井 博文 2 整大
3 尉 川東 和人 輸送隊
3 尉 太田 健 輸送隊
3 尉 島田 健 輸送隊
3 尉 藤原 努 1 整大
3 曹 藤田 飛鳥 輸送隊
3 曹 福岡 直 輸送隊
3 曹 福岡 直 輸送隊
3 曹 服部 裕太郎 2 整大
3 曹 中芝 尚史 輸送隊
衛生隊(大阪サミット支援)
第4級賞状(職務遂行)
第5級賞詞(職務遂行)
曹長 小石澤広志 本付
曹長 南 浩明 1 整大
曹長 辻川 元也 1 整大
士長 辻川 元也 1 整大
第5級賞詞(自主募集)
2 尉 青野 修一 輸送隊
2 尉 長井 惇 連本

定期昇任

1等陸尉へ

高橋 由菜 2 整大
松本 漢紀 輸送隊
姫井 俊美 衛生隊

2等陸尉へ

谷口 潤 1 整大
安部 尚哉 2 整大
田沼 佑樹 衛生隊

3等陸尉へ

上口 正成 連本
松場 正子 補給隊
陸曹長へ
小石澤広志 本付
石原 晴央 1 整大
松木 充 1 整大
岩崎 昌弘 2 整大
山本 昇吾 2 整大
小山 紀子 補給隊

1等陸曹へ

平野 隆 本付
藤岡 真也 2 整大
米森 耕一 2 整大
堀切 彰 2 整大

2等陸曹へ

加藤 輝 1 整大
世古 善憲 1 整大
植木 拓也 2 整大
桑名 潤 2 整大
中前 健 2 整大
東堤 友宏 2 整大
西原 良夫 2 整大
安田 優 輸送隊

3等陸曹へ

長谷川 光 本付
横田 一将 2 整大
寺本 雄次郎 2 整大
芦田 瑛人 2 整大
立岩 知大 2 整大
中野 慶俊 2 整大
橋本 大二郎 補給隊
今村 翼 補給隊
稗田 直也 輸送隊

紹介の等往人事

転出者

転入者

連隊本部 1 尉 藤井 真二 東方後支 (霞ヶ浦)	本部付隊 曹長 藤本 昌宏 阪神病院 曹長 小石澤広志 中方後支 (桂)	第1整備大隊 1 曹 井上 秀和 千僧駐業 (朝霞) 1 曹 平泉 秀泰 中情隊 (十条) 3 曹 柳井 菜美子 2 曹教 (仙台)	第2整備大隊 1 曹 南 浩明 関西処 (宇治) 2 曹 河合 克章 情報本部 (大井) 3 曹 島袋 早利 3 師付 (千僧) 3 曹 須藤 雄毅 12 後支 (相馬原)	第2整備大隊 3 尉 富樫 賢一 装実隊 (富士) 1 尉 新妻 守康 関東処 (霞ヶ浦) 2 尉 森山 順恒 北方後支 (東千歳) 1 尉 小井 博文 8 後支連 (北熊本)	補給隊 1 尉 武田 将弘 教訓研本付 (目黒) 1 曹 湯口 清 西方後支 (目達原)	輸送隊 2 佐 青野 修一 美唄駐業 1 曹 川東 和人 関西処 3 尉 川野 浩二 千僧駐業 (宇治)	衛生隊 3 尉 石井 亜希 補統 3 尉 太田 直樹 4 後支連 (福岡) 3 尉 岸本 陽子 関東処 (用賀) 2 曹 岸本 陽子 中方衛生 (伊丹)	本部付隊 1 曹 久家 大生 飯塚駐業	第1整備大隊 2 曹 山野 隆治 西方後支 (大分) 3 曹 千原 英文 西方後支 (小郡) 3 曹 中野 光貴 九州処 (目達原) 3 曹 山根 拓也 情報本部 (大井) 士長 齊藤 琉 第62期生徒6・27付 (千條)	第2整備大隊 1 尉 塚原 長政 3 師司 (十条)
------------------------------	--	---	--	--	--	---	--	------------------------	--	-------------------------------

連隊内異動

第2整備大隊 1 曹 下矢 みさを 千僧駐業 (信太山) 2 曹 植山 広 37 普通連 (北熊本)	連隊本部 3 尉 田淵 陽平 2 整大1DSから 3 尉 上口 正成 本付から	本部付隊 2 曹 山下 忠尊 1 整大火車から 3 曹 小野 新司 1 整大本付から	第1整備大隊 3 曹 寺田 勇 補給隊	第2整備大隊 1 尉 舛田 貴文 連隊本部から 補給隊 武内 勇介 2 整大戦車DSから
--	---	--	------------------------	--

連隊メダル紹介

連隊OB会より連隊メダルを作製して頂きました。
このメダルは、連隊長及び連隊最任上級曹長から、功績が顕著な隊員に授与されます。
連隊OB会の皆様ありがとうございました。



連隊 HP

<https://www.mod.go.jp/gsdf/mae/3d/3log/index.html>